



真保家の田んぼ



伊勢亀さんの育苗ハウス

二十四節気 **穀 雨 こくう** 穀物の成長を助ける春の雨が降る頃
気温も上昇し 雨のおかげで 穀物が成長します

今日の新潟は暑いです。

25℃まで温度が上がるようです。

育苗ハウス内の温度は、どんなに換気しても高温になります。

農家の皆さんは、苗を焼かないように育苗ハウスの温度管理や水管理に気が抜けません。

4月前半の晴天のおかげで、ほぼ全ての田んぼの田起こしも終わっています。

◎◎ 苗半作 ◎◎

苗半作という言葉をご存じでしょうか。

昔から言われている言葉で、「作柄は苗の出来によって半分が決まる」という意味合いの言葉です。

育苗期間は、3週間程度と短いですが、その苗作りの期間が非常に重要になります。

今、農家の皆さんは育苗期間の真最中です。

育苗ハウスの中には、綺麗な緑色をした苗が並んでいます。

農家によって違いはありますが、**今月8日前後に播種(はしゅ)**をした農家の皆さんが大半ですので、**今日で播種から11日～12日ほど経過しています。**



耕起された田んぼの表面

南区の生産者の伊勢亀さんのところへ昨日、お邪魔して苗の様子を見せてもらいました。

伊勢亀さんは昨年、お父さんから引継ぎ米作りをしています。田植え前からの引継ぎだった為、育苗は今年初めて自分で管理しています。

ハウス内の苗もかまぼこ状にならず綺麗に揃って生育しており、上手に管理されています。

少し伸びているかなと心配して

おられましたが、伊勢亀さんの地域は仕事の取り掛かりが早く、田植えまで1週間ちょっとの為、このままいけば順調に田植えができそうです。



伊勢亀さんのコシヒカリの苗
10cmまで成長しました

早いもので、次回の産地通信では田植えの様子のご紹介です。

先日、我が家の炊飯鍋を新調しました。

燕市のステンレス製の調理道具メーカー、宮崎製作所の炊飯鍋を買いました。2合用と5合用があるのですが、輸出等が好調なのでしょうか、5合用は欠品中で、次回入荷は7月頃とのことで2合用を購入しました。

実感としては以前、使用していた炊飯鍋よりもだいぶ良いです。

炊きあがったご飯に艶があり、美味しく炊けます。

炊き方としては、あらかじめ浸漬しておいたお米を、中火で沸騰するまで加熱し、沸騰したら弱火にして、10分～12分、その後10分蒸らしておひつに移すといった感じです。

そこまで、時間もかかりませんし、手間でもありませんので、おすすめです。



宮崎製作所の炊飯鍋